

【参考】平成 24 年度事業活動計画書

常任委員会名	看護学教育質向上委員会	分掌者	村嶋 幸代
活動の主旨と活動計画	本委員会は、以下の目的と任務を持つ。 目的：看護系大学における看護学教育の充実・向上を図るために、看護系大学の教育の質に関する事項並びに看護教育に求められる資質・能力向上に関する事項について検討する。 任務：看護系大学における看護学教育に関する調査研究を行い、教育改善に役立てる基礎資料を得るとともに、それらの課題について看護系大学間で共有して、課題解決と教育の向上を目的とした検討会、研修会を企画、開催する。 平成 24 年度は、「看護系大学における教育と臨床の連携強化に向けた取組」の状況について、特に、<u>臨床(地)教授（講師等も含む）制度の実施状況、および連携強化への課題等を把握するためのアンケート調査を実施する。その結果は、平成 24 年 10 月 24-26 日に千葉大学で開催される看護学教育ワークショップで報告し、教育と臨床・臨地の連携について検討する。</u> アンケートは、会員大学を対象に、メールによる配布・回収する方法で、記名で行う。含める項目は、①臨床教授制度の実施状況＜実施の有無、依頼状況、選定基準、報酬の有無、学内での位置づけ（教授会や単位認定会議への出席の有無）、課題等＞、②臨床(地)との人事交流の状況（人事交流の有無、受け入れと派遣の基準、給料格差の有無と埋め方、人事交流の意義と期待する効果・成果等＞、③①②について当該校からの情報提供の可否、である。可能であれば、更に、④実習に出す前に、学内で実施している演習の内容と工夫。⑤卒業時の到達度の評価方法も加える。		
常任委員会名	広報・出版委員会	分掌者	井部 俊子
活動の主旨と活動計画	看護に関する情報を会員校ならびに社会に向けて広報することで、看護学教育の発展を支えることを目的とする。 1. ホームページの充実： 1) 本協議会の活動並びに、看護学教育についての理解が深まるよう、掲載内容の検討と使用方法の簡便さ、分かりやすさの向上を図る。 2) 災害支援活動の交流の場の提供 2. 社会に向けた広報戦略の検討と実施 1) 「看護の日」キャンペーン（例：全国一斉オープンキャンパスなど） 2) メディアへの対応ガイドラインの作成 3. その他		

【参考】平成 24 年度事業活動計画書（続き）

臨時委員会名	国際交流推進委員会	分掌者	真田 弘美
活動の主旨と活動計画	1. 主旨 日本の看護高等教育に関して国際的な活動、対応を求められた時に窓口となり、国際交流を推進する。 2. 活動計画 1) アジアの高等教育における Doctoral Course への支援を継続する。そのために、第 16 回 The East Asia in Nursing Scholar (EAFONS) への国内参加者への広報と支援を行う。また、日本看護系大学協議会から 2 名の代表者を選出し、Executive Committee Meeting に送る。EAFONS から依頼されるパネリストの選定をする。 2) WHO 看護協力センター第 9 回学術集会について JANPU として支援を行う。 3) 米国、英国などから高度実践看護師に関する情報収集ならびに連携を行う。		
臨時委員会名	災害支援対策委員会	分掌者	山口 桂子
活動の主旨と活動計画	災害看護の支援事業を行うにあたり、募金、広報、助成、組織の在り方などの重要事項を協議し、本事業の円滑、適正な運営を図ることを目的とする。 1. 募金活動の継続 名称を変更せず、今後災害が起きた際に、被災給付、支援活動、災害関連研究、など理事会が必要と認めた災害に係る活動に広く適用できるようにする。 2. 災害時に看護系大学としての社会貢献の在り方の検討 1) ペアリングシステムの啓発 2) 各大学の実績のホームページ掲載による情報提供 3) その他 3. 災害時に看護系大学として備えておかななくてはならない規則、システムの構築 災害看護学会への委託、あるいはプロジェクト班活動		